

平成29年度 隊集中訓練



(発行所)
11特OB会
(連絡先)
札幌市南区
真駒内17番地
第11特科隊
広報援護室
TEL (011)-581-3191
内線2645
(印刷)
札幌造型合同会社



主な記事

- 二面 陸幕課目指定演習他
- 三面 春季演習場定期整備他
- 四面 特科隊創立9周年記念行事他
- 五面 着任中隊長の紹介・転入者の紹介他
- 六面 転出者の紹介・各連絡事項等

第1回 隊集中訓練



関係弾道癖射撃(第2中隊)



勾配のある不整地に陣地占領(第3中隊)



初度受領射撃(第2中隊 三上3曹)

隊は、平成二十九年五月二十一日(日)から五月二十六日(金)までの間、矢臼別演習場において平成二十九年第一回隊集中訓練を行った。本訓練は八月に予定されている特科隊実射検閲に向けて練度向上を図る目的で実施し、新規納入火砲の初度受領射撃、関

係弾道癖決定のための射撃及び頻繁な小移動を伴う練成射撃を行った。頻繁な小移動を伴う射撃は、隊としては初めての試みであったが、これまでの段階的な訓練及び事前の周到な準備により、一件の事故もなく数多くの成果を挙げることができた。

あわせて、隊が担任実施した旅団観測者集合訓練において、射撃中の火砲等の研修を行うほか、隊の実射練成訓練において、特科職種ではない訓練参加者が射撃要求、射弾の観測を行うという特科隊初の試みを成功させ、旅団における情報と火力の連携について、その実効性を向上させることができた。



観測所で射弾の観測をする旅団観測者集合訓練参加者



頻繁な小移動(待機位置から射撃位置)



林内に隠蔽し陣地占領(第1中隊)

第2回 隊集中訓練



陣地進入訓練(射撃中隊練成訓練)



陣地の安全化訓練(射撃中隊練成訓練)



装面訓練(射撃中隊練成訓練)

隊は、平成二十九年六月二十日(火)及び二十一日(水)に、矢臼別演習場において平成二十九年第二回隊集中訓練を行った。

本訓練は、隊の徒歩行進及び戦術行動の能力向上を図る目的で行われた。当初二十日に徒歩行進訓練が行われ、演習場内に設定された三十キロメートルのコースを予定の時間で全員が完歩し、徒歩行進能力を向上させた。

また、二十一日には、第一中隊と第二中隊が検閲に向け、練成訓練を行い、中隊の団結・規律・士気を高めた。



目的地到着直前の様子(徒歩行進訓練)

平成二十九年 陸幕課目指定演習(HTC)

隊は、平成二十九年六月二十三日(金)から二十七日(火)の間、矢白別演習場において平成二十九年陸幕課目指定演習(HTC)に参加した。本訓練は全火砲、全隊員に交戦訓練用装置(パトラ)を装着して戦闘するという、極めて実践的な訓練であり、敵を倒して最後まで生き残り任務を完遂しようとする特科隊の士気は、天を衝く程に高まった。

今回は、これまでに行ってきたイーグルアイズ(隊観測斥候の精鋭)が敵中に潜入し、発見した敵を先制火力により打撃する、情報と火力の連携による戦い方に加え、各火砲が錯雑地や林内を活用して広域に分散し、射撃の都度、頻繁に小移動して健在性を確保しつつ、陣地変換中においても、道路上で迅速な射撃を行う等、九九式自走一五五ミリりゅう弾砲の特性を最大限に發揮した強靱な部隊運用を訓練できた。

さらに、敵から発見、攻撃されないよう、部隊行動及び陣地の秘匿、厳重な警戒等、敵を意識した行動についても練度が向上し、特科隊としては極めて実りの多い訓練となった。



闘志あふれる特科隊員



鋭い眼光で敵を搜索(本管中隊 川上2曹)



陣地内の索敵行動



警急分隊を指揮する分隊長(右)(第2中隊 波形曹長)



陣地変換中の迅速な火力発揮



森と同化して戦いの時を待つ火砲



威風堂々と行進をする特科隊員



旅団長の前を整然と行進する99式自走155ミリりゅう弾砲



標兵として旅団長に対し、捧銃(ささげつつ)をする特科隊員(本管中隊 五十嵐3曹(左)と松村3曹(右))



第11特科隊長 西島1佐

隊は、平成二十九年六月四日(日)、真駒内駐屯地で行われた第十一旅団創立九周年及び真駒内駐屯地開庁六十三周年記念行事に参加した。時折、小雨が降る天候の中、日頃の訓練成果を發揮し、威風堂々とその威容を披露した。パレードでは、戦車大隊の後の大トリを九九式自走一五五ミリりゅう弾

砲がその大きな車体と長い砲身で迫力ある行進を行い、観閲台や観客席から大きな拍手と歓声が送られた。また、式典を陰から支えるため隊員は、観閲行進時の標兵を務めるほか、受付、案内、誘導、警備係として勤務し、式典の成功及び、第十一旅団と真駒内駐屯地の広報に大きく寄与した。

第十一旅団創立九周年及び真駒内駐屯地開庁六十三周年記念行事に参加

平成二十九年 度

春季演習場定期整備

隊は、平成二十九年五月十日(水)から五月十九日(金)までの間、北海道大演習場において平成二十九年春季演習場定期整備を行った。

本演習場整備では、隊務の総合一体化を具現するため、演習場整備を訓練の場としてとらえ、指揮幕僚活動能力、部隊行動及び隊員各個の任務遂行能力の向上を図った。各中隊は、それぞれの計画により、車両行進に引き続き整備区域の安全

化、区域内の警戒、索敵訓練及び、けん引車両の操縦訓練等を行い、訓練度の向上を図った。この間、任務完遂の意識を強固に保持し、北海道大演習場島松地区及び真駒内射撃地区を「自分たちの道場は自らが整備する。」という強い信念と「与えられた任務は必ず達成する。」という強い執念をもち、本格的な訓練に向けた万全な整備を行った。



まさに築城訓練



射座の土のうは全て積み替え



前日の雨と強風に苦心した弾着区域の野焼き



隊員の基礎動作を指導する最先任上級曹長



陣地の安全化訓練後のAAR(第2中隊)



車両行進から陣地の安全化訓練(第1中隊)



中隊長随行班による安全化訓練(第3中隊)

平成二十九年 度 陸曹候補生履修前教育

総合訓練

隊は、平成二十九年六月十三日(火)、北海道大演習場西岡地区において第十一特科隊一名、第十一高射特科中隊二名、第十一特殊武器防護隊二名の計五名に対する第一期陸曹候補生履修前教育の総合訓練を行なった。

総合訓練には、第十一特科隊長、第十一高射特科中隊長、第十一化学防護隊長、第十一特科隊第一中隊長が視察に訪れ、学生は小銃分隊の攻撃で約一ヶ月間にわたる教育

で学んだ成果を十分に発揮した。

総合訓練を終えた後、第十一特科隊長から感想を求められた阿部候補生は「教育間、学んだこと以上に皆で頑張り支え合っかった。履修前教育については身になる事が多く(教育を受けた)一ヶ月を短く感じた。」と陸曹を目指す若者らしい元気を奪取して任務を完遂したことを認められた。



一斉に立ち上がり、「突撃」



隠蔽に留意し、攻撃準備線へ前進する分隊



伝統ある教育隊スタッフとの記念撮影



状況終了後、元気に質問に答える阿部候補生(第11特科隊第1中隊)

第十一特科隊 創立9周年記念行事

隊は、平成二十九年七月八日(土)、真駒内駐屯地及びアサヒビール園において、各協力団体、OB会員及び隊員家族を招いて、隊創立9周年記念行事を行った。

本行事は、特科隊が創立9周年を迎え、特科連隊から続く隊の伝統を再認識し、併せて「協力団体や隊員家族に特科隊の役割及び活動を広報し、協力基盤の確立を図るとともに親睦を深める。」ことを目的として行われた。

当初、隊グラウンドにおいて行われた運動会は隊員及び隊員家族が参加し、出身地別方面対抗の玉入れや世代対抗の綱引き、借り物競争等、白熱するとともに笑いの絶えない楽しい時間を過ごし、隊員相互の融和が図られた。

その後、会場をアサヒビール園に移し、OB会主催による祝賀会食をおこなった。祝賀会食には、協力団体の方も参加し、和やかにジンギスカンを囲みながら、隊の1年の活動状況を紹介するスライド上映や曹友会主催の大抽選会を楽しんだ。

参加した協力団体の方からは、「毎年、特科隊創立記念行事を楽しみにしている。みんな元気があって頼もしい。」と喜んで頂き、また大抽選会で景品を獲得した隊員は、「いい思い出が出来ました。ありがとうございます。」などの感想を得られる等、祝賀会食は、大いに盛り上がった。

最後は、今年度、旅团长感謝状を受賞したやまぶき会の永吉氏が万歳三唱で締め括り、盛会のうちに終了した。



子供も熱中した瓶釣り競争



白熱した出身地別方面対抗玉入れ



万歳三唱(やまぶき会副会長 永吉氏)



特科隊の1年を紹介したスライド上映



オヤジパワー炸裂!! 世代対抗綱引き



約130名の隊員による迫力ある踊り



先頭を行く隊長と浴衣を着用した女性自衛官(先頭 本管中隊 宗像2曹)



主担当者として活躍した渡邊3尉



目線、指先に神経を集中させる隊員(左から 第3中隊 北條3佐 前田1曹 森崎1曹 能登3尉)

第五十一回おたる潮まつり 潮ねりこみに参加

隊は、平成二十九年七月二十九日(土)に、小樽市で行われた「第五十一回おたる潮(うしお)まつり」の潮ねりこみ(踊りの練り歩き)に参加した。

潮ねりこみは、約百団体、約七千五百名が参加する、おたる潮まつりの最大の華である。

隊は、「三年ぶりに」隊長以下過去最大の約一三〇名が参加し、隊区小樽市のまつりを盛り上げた。

隊員は、練習の成果を発揮し、多くの観客に自衛官らしい力強さや息の

あつた踊りを披露して特科隊をPRした。

当日は、潮ねりこみ指導を頂いた藤間扇玉先生、やまぶき会山本会長及び協力会の方々から応援を頂くほか、「格好いい」「さすが自衛隊」、「動きが揃っていて力強い」等、沿道からうれしい声があふれた。

踊り終えた隊員は、「自分も楽しむことができた。」「また、来年も参加したい。」「充実感に満ちた表情で語った。翌日には表彰式が行われ、隊は、「審査員特別賞」を受賞した。

平成二十九年 度

防災懇談会

隊は、平成二十九年六月七日(水)、真駒内駐屯地において、防災懇談会を行った。

本懇談会は、特科隊の災害派遣等担当市町村の防災担当者(小樽市、積丹町、仁木町、余市町、赤井川村)を招き、自治体側から防災計画、自衛隊側から災害対処能力をそれぞれ紹介して、防災に関する認識の共有、相互の連携を強化を目的として実施した。

また、本年度初の試みとして、海上自衛隊余市防備隊司令(三上一佐)以下三名が参加した。

懇談会後には、意見交換会を行い、現場で行動する隊員の意見や、各自自治体のニーズ等の意見交換が積極的に行われ、各自自治体及び海上自衛隊余市防備隊との協力態勢を強化できた。



隊長(左)と余市防備隊司令三上一佐(右)との陸・海自衛隊の相互連携等について認識を共有



「相互の認識共有、信頼関係の強化が、地域の防災能力向上に重要です。」赤澤3佐(左)隊長(右)



「日頃から訓練に励み、身体を鍛え、物心両面の準備を整えています。」(本管中隊 山田曹長)



市町村防災担当者と担当中隊による具体的な意見交換

第七代 第一中隊長

一等陸尉 西本 拓



出身地 北海道共和町
 前勤務地 北部方面總監部(札幌)
 年齢 46歳
 趣味 映画鑑賞

第五代 第二中隊長

三等陸佐 千葉 敬



出身地 神奈川県鎌倉市
 前勤務地 中央即応集団(座間)
 年齢 49歳
 趣味 駆け足・温泉廻り

部内異動者紹介

隊本部(第四科)へ

一等陸尉 富田 智之(第二中隊)

本部管理中隊へ

陸曹長 嶋田 千治(第一中隊)

二等陸曹 當麻 太一(第三中隊)

引き続きよろしく
お願いいたします。

定年退官者紹介



江藤 2佐
29.7.20付
(室蘭市)



畠山 1曹
29.7.3付
(札幌市)

永期に亘る北の防人
お疲れ様でした。

※○については定年後の就業地

転入者紹介

隊本部

三等陸佐 目野 友治
幹部候補生学校 (前川原) より

一等陸尉 丹代 和夫
第11旅団司令部 (真駒内) より

本部管理中隊

陸曹長 濱谷 親弘
札幌病院 (真駒内駐屯地) より

一等陸曹 早川 広勝
第2特科連隊 (旭川) より

二等陸曹 矢口 雅也
第1陸曹教育隊 (東千歳) より

二等陸曹 吉田 直之
第2特科連隊 (旭川) より

三等陸曹 宮島 清治
第1特科隊 (北富士) より

三等陸曹 藤原 友夫
東北方面特科隊 (仙台) より

第一中隊

一等陸尉 西本 拓
北部方面総監部 (札幌) より

第二中隊

三等陸佐 千葉 敬
中央即応集団 (座間) より

ようこそ特科隊へ。
これからよろしく
お願いいたします。

転出者紹介

隊本部

二等陸佐 井上 和久
第2特科連隊第二大隊 (名寄) へ

一等陸尉 松下 堅一
第十一旅団司令部 (真駒内) へ

本部管理中隊

一等陸曹 清井 理
真駒内駐屯地業務隊 (真駒内) へ

一等陸曹 櫛引 久美
第一特科隊 (北富士) へ

二等陸曹 加藤 厚司
第二特科連隊 (旭川) へ

第一中隊

三等陸佐 三井 秀人
陸幕監理部 (市ヶ谷) へ

二等陸曹 北 顕
補給統制本部 (十条) へ

三等陸曹 林 敬志
第六特科連隊 (郡山) へ

陸士長 高橋 康史
北部方面警務隊 (真駒内) へ

第二中隊

三等陸佐 浅地 優太
北部方面総監部 (札幌) へ

三等陸曹 岡本 拓磨
第十二特科連隊 (宇都宮) へ

新任地での
ご活躍を
お祈りいたします。

七月昇任者紹介

一等陸尉へ

富田 智之 (第二中隊)

二等陸尉へ

鈴木 知広 (第二中隊)

陸曹長へ

皆川 学 (本部管理中隊)

津久井 源揮 (第二中隊)

一等陸曹へ

磯貝 邦義 (本部管理中隊)

船木 誠 (第一中隊)

二等陸曹へ

滝石 光右 (第一中隊)

高橋 努 (第三中隊)

三等陸曹へ

後藤 美咲 (本部管理中隊)

柴田 剛志 (本部管理中隊)

久保 祐喜 (第二中隊)

昇任おめでとう
ございます。

平成29年度自衛官等募集内容

- 一般幹部候補生
資格: 22歳以上26歳未満の者
- 予備自衛官補一般
資格: 18歳以上34歳未満の者
- 自衛官候補生(男子)
資格: 18歳以上27歳未満の者
受付期間: 年中行っております。
試験日: 受付時にお知らせします。

防衛省自衛隊札幌地方協力本部南部地区隊

〒005-0008 札幌市南区真駒内17番地

携帯 070-6589-0123

広報官 藪本1曹(元11特科隊所属)

Webでも第11特科隊の活動状況がご覧いただけます!

まずは **11特** で検索!!

第11特科隊
ホームページアドレス

<http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/11d/organization/images/tokka/index.html>



OBの方へ連絡とお願い

一 入門証について

現在、期限切れの入門証をお持ちの方で今後とも必要とされる方は、更新手続きをお願いいたします。
手続きに関しては、「特科隊 広報・援護室」にて行っております。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四七) 担当 松山

二 叙位及び死亡叙勲に関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によって手続きを進める事になります。この期間が限られており、この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなりますので、万が一ご本人が亡くなられた場合には、死亡日を含め五日以内に最寄りの防衛省各機関、部隊等へ連絡することを家族共々くれぐれもお忘れの無いようお願いいたします。

三 その他

特科隊舎一階には特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室がございます。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四六) 担当 吉田